

18年ぶりの快挙！魅せる消防魂！

香取支部ポンプ操法大会 — 6月25日 —

香取広域市町村圏事務組合栗源消防訓練場にて、令和4年度公益財団法人千葉県消防協会香取支部ポンプ操法大会が開催されました。多古町からは小型ポンプの部として第5分団第5班(谷三倉)と第4分団第2班(大門)の2班が出場し、第5分団第5班が最優秀表彰(優勝)、第4分団第2班が優良表彰(3位)という好成績を収めました。多古町消防団では第5分団第5班が、小型ポンプの部で18年ぶりに県大会出場を決めました。



第4分団第2班(大門)【優良表彰】

指揮者：平山 和直
 1番員：齊藤 宏二
 2番員：日下部 順一
 3番員：小嶋 邦正
 補助員：山田 晶



第5分団第5班(谷三倉)【最優秀表彰】

指揮者：高橋 望(最優秀指揮者)
 1番員：鈴木 貴大(最優秀1番員)
 2番員：橋本 真之介
 3番員：橋本 大介(最優秀3番員)
 補助員：橋本 孝之



発見！
TAKO LOVE
 たこラブびと
 さいとう こやた
 齊藤 小弥太さん



プロフィール

市川市在住

高校を卒業後、日本写真芸術専門学校に入学し、カリキュラムの過程でインドへ行き、そこに暮らす人々の生活、生涯を題材に撮影をした経験から写真家となる。

現在は国内外でドキュメンタリー作品の写真を多数手掛けている。

このコーナーでは、多古町や町民の皆さんと関わる「関係人口」^(※)に注目し、町外にお住みの方で多古町と“縁”ができた方をご紹介します。(※)【関係人口】地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと

齊藤さんは5月31日から6月12日の期間、「TOKYO BRIGHT GALLERY」で、成田空港の機能強化に伴う集団移転の対象となる一畑田地区の方々や風景などを撮影した写真展を開催し、現在も撮影、取材を続けています。今回は、そんな齊藤さんの活動に対する思いを伺ってきました。

——多古町との出会い

多古町には2年ほど前に仕事の関係で訪れ、一畑田地区が集団移転となることを知りました。その後、一畑田地区で暮らす農家のご夫婦に出会い、この土地に生きる方々の思いを感じました。写真家としてこの土地の方々の生活の営み、生きた証を記録しなければ、と撮影を始める決意をしました。

——思い出をつないでいく手助けを

多古町に通っているうちに顔覚えてもらい、暮らしの様子を撮影させてもらったり、お話を聞けるようになりました。今住んでいる方々は、そういった風景は日常の一部に溶け込み、気に留めることはあまりないかもしれませんが、そこにあって誰も気が付かなかったもの、自分が生きてきた軌跡を見つめ直すのはとても大切なことだと思います。

もしこの先移転して何年も経ってから、私が記録した写真を見てもらうことで、「懐かしいね、こんな場所あったね」など、当時を思い出してもらえるなら、今住んでいる方々の思い出を未来へつなぐ手助けになるのかなと思います。もしそうならば、写真家として、とてもうれしいです。今後も撮影を続け、思いを持って住んでいる方々の姿を残していきたいと思っています。

